

災害発生!! どうしよう!?

災害から自分や家族を守る
行動をするために!

保存版

いまから知っておこう! 備えておこう!!

2015年(平成27年)
9月10日発行

地震

太田市における地震想定

- 平成24年6月=群馬県地震被害想定調査報告書の中に想定地震として「太田断層による地震」が示されました。想定最大震度は震度7
- 平成26年3月=首都直下地震緊急対策区域に指定されました。想定最大震度は震度6強

過去の被害

平成26年9月16日、茨城県南部を震源とする地震で、太田市は震度5弱を記録し、市内で64棟、家屋等の屋根が一部破損する被害がありました。

身を守る行動

テーブルの下に入って落下物や倒れてくる物から身を守りましょう。隠れる所が無い場合は、広いスペースへ行き、頭を抱えて小さくなりましょう。

瓦や窓ガラスなどが落ちてくる危険があるため、むやみに外へ出ることはやめましょう。



家の中の対策

直下型地震は強い揺れが短時間に発生します。そのため部屋にある家具が移動したり、棚の食器などが落ちてきてけがをすることがあります。

事前に家具の固定、棚に留め具を設置するなどの対策をとりましょう。また夜間に地震が発生した場合に備え、普段から足元灯などを用意しましょう。



緊急地震速報が発表されたら、すぐ行動しましょう

緊急地震速報は、震度4以上の揺れを予想した地域に対して発表します。

正しい情報を確認



●緊急地震速報の入手先

テレビ、ラジオ(エフエム太郎 76.7MHz)、携帯電話会社からの緊急速報メール、防災行政無線(尾島・世良田地区)

●その他、地震に関する情報の入手先

市ホームページ、広報課ツイッター、おおた安全・安心メール

水害

河川増水による氾濫(浸水想定区域内)

台風や停滞前線などの大雨による河川増水は河川氾濫を起し、家屋などの浸水被害が想定されます(想定区域は下図の黄・緑・水色の部分です)。



太田市防災マップより一部抜粋: 太田市水防計画対象河川(利根川・渡良瀬川・石田川・早川・蛇川)

内水氾濫(住宅地等)

ゲリラ豪雨による短時間の大雨により、側溝や水路などの水があふれて道路に流れる。



正しい情報を確認



- 水位情報: 国土交通省 川の防災情報 <http://www.river.go.jp>
- 群馬県水位雨量情報: <http://www.uryou-gunma.jp>
- 河川の水位や雨量: NHKの地上デジタル放送(リモコンのdボタン)で確認できます。
- 防災行政無線(尾島・世良田地区): 放送内容はフリーダイヤル(☎0120-031-760)で確認できます。

身を守る行動

急激に浸水し、避難場所まで行くことが危険な場合は、家の2階など建物の高い所へ逃げましょう。



土砂災害

太田市には金山丘陵 および八王子山丘陵 周辺に**98**カ所の土 砂災害警戒区域があ ります

- 土砂災害警戒区域：右図の茶色の部分
- 土砂災害特別警戒区域：右図の赤茶色の部分

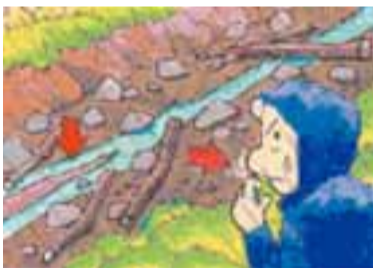
台風や停滞前線などによる大雨や大きな地震の後もリスクが増加します。



太田市防災マップより一部抜粋

土石流の前兆現象

立木の裂ける音や大きな岩の流れる音が聞こえる、降雨が続いているが溪流の水位が減少し始める、異様なにおいがする



がけ崩れの前兆現象

斜面に亀裂、小石がぱらぱらと落ちる、異様な音や地鳴りが聞こえる、湧水が濁る、水が吹き出す



地すべりの前兆現象

地鳴り、地面が振動、亀裂や段差の発生・拡大、地表面の凸凹の発生、舗装道路のひび割れ、建物等の変形、地下水の濁り



身を守る行動

土砂災害から身を守るためには、発生する前に避難するほかありません。しかし万が一土石流やがけ崩れに遭遇してしまった場合のために、逃げ方を覚えてください。

土石流からの逃げ方

土砂の流れる方向に対して直角に、少しでも高い場所へ逃げましょう。



がけ崩れからの逃げ方

がけ崩れによる土砂は、斜面の高さの2倍の距離または50m程度まで届くと言われており、前兆現象を発見したら早めに斜面から遠くへ逃げましょう。



正しい情報を確認

市では土砂災害警戒区域を有する行政区にお住まいの方で土砂災害警戒情報に係るメールや電話連絡の登録者に対して、避難に関する情報を発信する取り組みを行っています。

- 土砂災害警戒情報：群馬県土砂災害警戒情報システム
群馬県砂防課ホームページ
<http://www.dosya-keikai-gunma.jp>
- 気象庁：土砂災害警戒情報
気象庁ホームページ <http://www.jma.go.jp/jp/dosha/>

竜巻

竜巻の特徴を知って、自ら身を守りましょう!!



竜巻は突然発生し、短時間で大きな被害をもたらします。

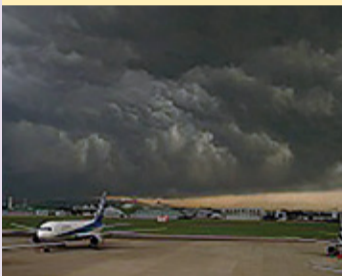


過去の被害

平成25年7月12日のゲリラ豪雨により突風が発生し、尾島地区で約40棟、家屋等の屋根が一部破損する被害がありました。

竜巻が発生する兆し このような兆しが見られたら注意してください。

低く黒い雲（積乱雲）が接近する



雷鳴や雷光が見える



急に冷たい風が吹く



窓や壁に打ち付けるような強い雨や風



ひょうの落下



正しい情報を確認

気象庁が発表する竜巻注意情報や市で発信している「おおた安全・安心メール」、「防災行政無線（尾島・世良田地区）」などを確認してください。

●気象庁「竜巻発生確度ナウキャスト」

今、まさに竜巻の発生しやすい気象状況をお知らせする情報です（詳細なエリアを10分ごとに情報提供）。

【パソコン】 <http://www.jma.go.jp/jp/radnowc/>

【携帯電話】 <http://www.jma.go.jp/jp/bosaijoho/m/radnowc/>

2次元コードから「竜巻発生確度ナウキャスト」携帯版にアクセスできます。



身を守る行動

窓や壁を突き破る飛散物は大変危険です。直ちに屋内外で、身を守る退避行動をとりましょう。

屋内の退避行動

窓やドア、外壁から離れる

竜巻の移動速度はとても速く、窓の側で竜巻を見続けるのは大変危険。

家の1階で中心部に近い、窓のない部屋（トイレなど）や地下室に駆け込む。

浴槽や机の下などの頑丈な物の陰に入り、両腕で頭と首を守る。

屋外の退避行動

車庫や物置、プレハブを退避場所にしない。

（駆け込める屋内が無い場合は）頑丈な建造物の側にうずくまったり、側溝などに伏せる。

コンクリート製などの頑丈な屋内に駆け込む。

大雪



過去の被害

平成26年2月14日から15日にかけて太田市で大雪が降りました。積雪量は52.5㍎（消防本部観測値）。家屋等の屋根などが一部破損する被害が2,858棟あり、その他、車庫や物置などにも多数被害がありました。

正しい情報を確認

テレビやラジオなどで気象庁が発表する天気予報や注意報・警報に注目しましょう。

●雪道でのドライブ情報

「群馬県県土整備部防災情報」
<http://www.kendobousai-gunma.jp/gismap/index.html>

太田市に係る発表基準

- 大雪注意報 =24時間降雪の深さが10㍎
- 大雪警報 =24時間降雪の深さが30㍎

火山灰



県内には浅間山・草津白根山などの活発な火山があり、大規模な噴火の際は火山灰が太田市にも降る可能性があります。

市では火山に関する情報をJアラート（全国瞬時警報システム）や群馬県防災情報システムを通じて24時間受信できる体制を整えています。火山灰による被害のおそれがある場合はエフエム太郎や市ホームページなどで情報をお知らせします。

●大雪や火山灰への対処については、平成26年9月1日号の広報おおたに掲載しました。また、太田市民のための危機管理行動マニュアルにも詳しく掲載しています（両方とも市ホームページで公開しております）。

災害発生のおそれ、もしくは災害発生したとき

(まずは、身の安全確保)

自宅にとどまることが安全か確認！ (自宅にとどまることも避難)

ポイント

- 市から避難情報が発令されたら、速やかに避難行動を行いましょう。
- 水害が想定される地域では、すでに家の周りが浸水している状態で避難所に行くことが困難な場合、自宅の2階や集合住宅の上層階に避難しましょう。
- 土砂災害は突発的に発生します。雨量が20㎜以上、あるいは降り始めてから100㎜以上になると要注意ですので、避難情報が発令されたら、すぐに避難しましょう。
- 地震の場合、家屋の倒壊や火災などの危険性をチェックしましょう。

自宅が危険
避難

自宅が安全

基幹避難所
(行政センターなど)
災害時には速やかに開設される。

避難者
増加

指定避難所
(学校の体育館など)
基幹避難所の避難者が増加したときに開設される。

周囲が安全であれば自宅へ戻ることを検討する

自宅での避難のポイント

- 食料を備蓄するとき、普段使いの食料品や食べ慣れているレトルト食品を多めに買い置きしておくことも有効です(詳しくは農林水産省<http://www.maff.go.jp/>の「緊急時に備えた家庭用食料品備蓄ガイド」をご覧ください)。
- 水道、電気、ガスが途絶している場合は、避難所などでの炊き出しや仮設トイレなどを利用し、市からの情報なども得ましょう。
- ラジオ(エフエム太郎)やおおた安全・安心メールなどによる市からの情報を得ましょう。

※避難所の情報は、市ホームページ「防災・消防・危機管理」に掲載しています。

備える

家庭では、家族3日分の食料と飲料水の備蓄をお願いします

チェックリスト

実際に記入して各家庭で保存してください。

自宅・常時備蓄品一覧

- 飲料水 (3ℓ × 人数 × 3日分)
- 食料品 (インスタント食品・クラッカー類 (人数 × 3日分))
- 現金 (できるだけ小銭を用意)
- 軍手 (表面がゴムで補強されている物)
- ガムテープ
- 台所用のラップ
- 懐中電灯 (できれば部屋ごとに常備。トイレにも)
- 乾電池・携帯電話の予備電池
- 乾電池式のラジオ
- ろうそく
- ライター (マッチ)
- 筆記用具 (鉛筆は必ず)・メモ用紙・太マジック
- 救急キット (消毒薬・ばんそうこう・包帯・三角巾・常備薬など)
- ウエットティッシュ
- タオル
- ティッシュペーパー (箱で用意)
- せっけん
- 歯ブラシ
- マスク
- 生理用品 (サニタリーショーツ・清浄綿など (セットで))
- 紙おむつ、お尻拭き
- 粉ミルク・アレルギー用ミルク・哺乳瓶・哺乳瓶用の消毒剤など (赤ちゃんに必要な物をセットで)
- 大型ビニールごみ袋
- 簡易トイレやトイレパック (携帯トイレ)
- 古新聞 (防寒対策にも役立つ)
- ブルーシート
- 着替え
- スリッパ、スニーカー
- カセットコンロ、予備のガス
- のこぎり・金づち・ボール・ペンチなどの工具
- その他必要と思われる物 (記入欄)

※備蓄品の多くは普段の生活の中で使用している物です。いざというときに持ち出せるように整理しておきましょう。飲料水や食料品には消費期限があります。定期的な点検が必要に応じて入れ替えましょう。

家族で決めよう わが家の避難ルール

より具体的に！
記入しよう

	記入例
連絡が取れないときの家族の集合場所	〇〇公園の時計の近く
集合時刻	午前10時 午後3時
会えなかったときの連絡方法	家の玄関扉に自分がいる所などのメモを貼る
家族で行く避難所	〇〇行政センター 〇〇小学校
家の備蓄食料などの保管場所	玄関の中のクローゼット
家族の大切な情報	子どもたちは迎えに行くまで学校にいること

災害時の連絡方法

災害用伝言ダイヤル「171」

(災害時の安否確認システム)

「171」をダイヤルして伝言を録音・再生するシステムです。利用方法は次のとおりです。

録音時

- ①171をダイヤル、次に1をダイヤルします。
- ②ガイダンスに従って、自宅(被災地)の電話番号を市外局番からダイヤルします。
- ③伝言を録音します。

再生時

- ①171をダイヤル、次に2をダイヤルします。
- ②ガイダンスに従って、連絡を取りたい被災地の電話番号を市外局番からダイヤルします。
- ③伝言が再生されます。
※災害用伝言ダイヤルの詳細はNTTのホームページをご覧ください。

災害用伝言板

携帯電話・PHSのインターネット接続機能で、被災地の人が伝言を文字によって登録し、携帯電話・PHS番号を基に全国から伝言を確認できます。

※災害用伝言板の詳細は、運営している携帯電話・PHS各社のホームページをご覧ください。

災害時の情報の入手先

気象情報 気象庁ホームページ <http://www.jma.go.jp>
天気・気象情報サイト (日本気象協会) <http://tenki.jp>

テレホンサービス 前橋地方気象台 ☎027-234-5053
災害案内テレホンサービス ☎0180-992-666

**群馬県土整備部 防災情報サイトを
ご利用ください** <http://www.kendobousai-gunma.jp/>

問い合わせ 危機管理室 ☎0276-47-1916 FAX0276-47-1888
✉010370@mx.city.ota.gunma.jp

市からの情報

1 市ホームページ
<http://www.city.ota.gunma.jp/>

携帯用サイトの2次元コード



3 広報課ツイッター

アドレス https://twitter.com/OtaCity_PR

アカウント @OtaCity_PR

2 おおた安全・安心メール
災害時に市から情報を配信します。

登録手続きの詳細は市ホームページ「おおた安全・安心メール」をご覧ください。

4 エフエム太郎 (76.7MHz)

5 防災行政無線 ☎0120-031-760
(尾島・世良田地区)